

ちゃんと かわら版 千歳



千歳セントラルロータリークラブ（関根悟会長、写真右下側）は3月28日、メモリアルむらもとの村本隆雄代表（写真）を講師に迎え卓話例会を開催しました。クラブ会員26人が参加。「感動創造の理念経営」と題した卓話が行われ、会員は熱心に耳を傾けていました。



メモリアルむらもとは、1960年7月に村本葬儀社として設立。現在は、葬祭業を中心に飲食・サービス業を展開しており、グループ全体の従業員は約220人（パートタイマー含む）。隆雄氏は2010年に三代目社長として就任し、現在44歳。「感動を創造する」を企業理念として掲げています。

お客様に真剣であること 感動創造の理念経営

メモリアルむらもと

メモリアルむらもと

村本代表は「仕事に真剣であることは

当たり前のこと。お客様に真剣であることこそが重要」と強調し「自分にとって大切な人に接するのと同じように、お客様に対して全力で向き合うことができるか」が問われていると指摘。かつて「誰のために、何のために仕事をしているのか」と問われた時に、即答できなかった自分自身を振り返り「ありがとうという感謝の言葉をいただく事を目



指すのではなく、見返りを求めず黒子に徹する姿勢こそ大切と気付いた」と話しました。

さらに「葬式は、一生に一回のこと。慌ただしく時間が過ぎる中、悔いのないようしっかりと別れをしていただき、また明日から日常生活を頑張ろうという気持ちになっていただければ」と結びました。

（編集部 葉多埜）

千歳市内の小学生と岡山県岡山市西大寺南小学校の生徒による「サケの旅立ち集会」が3月22日、サケのふるさと千歳水族館で行われました。この事業は、千歳中央ライオンズクラブ（LC）、山本幸博会長が、友好クラブである岡山市西大寺LCとの交流事業として1997年から続けているもので、今年21回目。

元気なサケが帰って来てね！ サケの旅立ち集会



千歳市内の小学生と岡山県岡山市西大寺南小学校の生徒ら総勢30人が参加して、西大寺南小の5年生、寺尾伊織さんと山根紗英さんの2名と、西大寺LCの近



り、発眼卵1300粒を岡山に届けたのが、今年1月11日のこと。それから2ヶ月余り、岡山市内の9小学校と4幼稚園で大切に育てられ立派な稚魚に成長。西大寺南小の5年生、寺尾伊織さんと山根紗英さんの2名と、西大寺LCの近

藤勝彦会長らが、育てた稚魚とともに来千し歓迎を受けました。

千歳からは祝梅小のほか、高台小、第二小の生徒ら総勢30人が参加して、西大寺南小の児童らとともに「元気に育って、がんばって無事に帰って来てください」と育てた稚魚を母なる川へ旅立たせました。



この日出席した千歳中央ライオンズクラブの岡本眞一郎副会長は「この放流事業を通じて、命の大切さを感じ取ってもらえれば、これからも友好クラブとともに継続していきたい」と話していました。

（編集部 葉多埜）



指宿市→千歳市

2泊3日のホームステイ!!

平成28年度「千歳市・指宿市青少年相互交流事業」の「受入事業」が行われ、千歳市と姉妹都市提携を結ぶ鹿児島県指宿市の小学6年生15人が来千しました。3月18日には、千歳市教育委員会庁舎会議室を会場に、子ども達の交流を通して、友好関係の強化を図ろうと翌年目を迎えた昨年度は、千歳市内の小学6年生男子7人、女子8人の計15人が参加しました。夏休みは千歳の児童が指宿へ、冬

場に歓迎式を実施。20日までの2泊3日の日程で、千歳市内の児童の家庭にホームステイして交流を行いました。同事業は、1994年4月の鹿児島県指宿市との姉妹都市提携を記念して、子ども達の交流を通して、友好関係の強化を図ろうと翌年目を迎えた昨年度は、千歳市内の小学6年生男子7人、女子8人の計15人が参加しました。夏休みは千歳の児童が指宿へ、冬

休みは指宿の児童が千歳を訪れ、相互交流。例年は、12月にホームステイを行っていましたが、大雪の影響で中止に。児童からの強い希望で卒業式の終わった3月に実現しました。



最終日の20日、市教委庁舎を会場にお別れ式を実施。千歳の児童代表の西村柚乃さん（末広小）は「12月の雪が多いときに来られなかったのは残念でしたが、また会えて嬉しかった。この交流事業の経験を生かして中学校でも頑張ります」と挨拶。また、指宿の児童代表、迫田貴之祐さん（柳田小）は「滝野スノーワールドに連れて行ってもらい、とても楽しかった。雪を見るのができて嬉しかったです。ありがとうございました」とお別れの言葉を送りました。

（編集部 秋本）



千歳北陽高校（小路修司校長）の第6回学校開放講座「ジュニアレスリング教室」の閉講式がこのほど、同校格技場で行われました。受講した幼稚園から中学生までの男女児童16人（女児1人）のうち、この日は12人が出席。これまで講座で学んだ技などを試合形式で披露した後、松本文治教頭から一人ひとりに認定証書が手渡されました。



同校は、道内でも数少ないレスリング部を設置しており、毎年全国大会に出場している強豪校。同部の屋敷宗寿教諭をはじめとする顧問のほか、部員数名が講師とサポート役を務めるこのレスリング教室は、千歳近郊で唯一同校のみが実施する独自の取り組みです。2016年度は同年5月にスタートし、計23回の教室を開講。6年目となる今回は、幼稚園年少から中学1年生までの男女16人が受講し、技を磨いてきました。

（編集部 秋本）

ジュニアレスリング教室 磨き上げた技に拍手喝采



は、柔軟体操や基礎練習を行い、これまでに習得した技を競い合う90秒間の個人戦がスタート。駆けつけた保護者などが見守るなか、両者の真剣な

技の掛け合いが続き会場からは盛んな拍手が送られました。その後、受講生には、基礎及び応用技術を習得したことを称えた9級から初段までの認定証書が松本教頭から授与されました。

同校では、今年度もレスリング教室を開講予定。募集は4月下旬から行う予定です。